# unicef for every child



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織 佐賀県ユニセフ協会通信(No. 109) uniwi sh36号(2021年4月) 佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番2号

(電話・FAX) 0952-28-2077

月・火・木・金 10:00~15:00 (業務時間) E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

ホームページ http://www.saga-unicef.jp/ facebook

http://www.facebook.com/unicef



# 4/26(月)15:00~ オンライン配信されました ユニセフ報告会『新型コロナウイルス危機と闘う現場から ~子どもたちへの支援、ワクチンで守る未来~』

★ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中で1億4,000 万人以上の感染が確認され、300万人以上が命を落としています。 (4月19日時点:WHO状況レポートより)



# <新型コロナウイルス危機がもたらす子どもたちへの影響

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)のパンデミックによって世界は-変し、私たちの生活のあらゆる面に影響が及んでいます。そして、世界で 最も貧しい子どもたちは、さらに深刻な影響を受けています。石けんと清潔 な水が手に入らず、手洗いができない子どもたち。学校が休校となり、イン ターネット・アクセスがなく、リモート学習もできない子どもたち。児童婚や 暴力、虐待のリスクにさらされている子どもたちも少なくありません。

パンデミックが2年目に入った現在も、不安を抱え、貧困の中で暮らし、 食べ物も十分に与えられず、虐待を受け、結婚を強いられる子どもの数が 増えています。同時に、教育、保健、栄養、保護などの不可欠なサービス を受ける機会は減少しています。子どもたちが、このパンデミックの影響を この先何年も受けていくことは明らかです。



**©UNICEF** 

# <現場で活動するユニセフ専門官の報告>



本報告会では、アグネス・チャン ユニセフ・アジア親善大使の進 行の下、現場からは、新型コロナウイルスが子どもに及ぼした影響 について、また、COVAXについては、新型コロナウイルスワク チンに関するユニセフの役割などの報告がありました。



#### 渋谷朋子(ユニセフ・モザンビーク事務所)教育チーフ アフリカの教育への影響―モザンビークの例―

- ・モザンビークの小学校修了率は49%、年齢が上がるにつ れて中退する女の子が多い。60万人が非就学児。3年生の 5%しか、あるべき識字レベルに達していない。
- 新型コロナウイルスの影響で、2020年3月から2021年3月ま でほとんどの学校(14970校)が閉鎖し、850万人以上の生 徒に悪影響が出た。COVID-19以前の読み書きレベルが、 さらに悪化した。また、暴力・虐待・児童婚による10代の出 産リスクも増大した。
- ・学校再開に向けては、①コロナ予防の啓発、②遠隔・通信 教育の開始、③学校再開のための準備支援など行ってきた。 ・3月19日から学校が再開したが、今年は56万人の入学生 が見込まれていたが、まだ35万人しか入学していない。

#### 頼田優女(ユニセフ・スーダン事務所)水と衛生担当官 ースーダンでの水・衛生事業についてー

- ・スーダンの水・衛生についてのデータ(2018年)では、73.3% がきれいな水を使うことができている(家には水道がなく30分以 内で水を確保できることを含む)。トイレについては、31.7%が清 潔なトイレを使っているが、33%は屋外排泄をしている。トイレの 後の手洗いについては半分が手を洗わない。
- ・2019年よりクーデターとコロナの影響で2年連続学校閉鎖をし ている。経済的な影響で児童婚や子ども兵士に出されたり、スト リートチルドレンになったりと子どもたちは苦境に立たされている。
- ・コロナ禍への支援としては、16000校の小学校の学校再開に 向けて「学校再開の手引き」策定の支援や「COVID-19安全 キット」である貯水タンクの設置や石けんの支援をしている。
- ・若者事業支援として、「ペダル式手洗いステーション」の開発・ 設置にも支援をしている。

#### 吉川美帆(ユニセフ・カンボジア事務所)子どもの保護専門官

#### 子どもの保護分野における新型コロナウイルスが子どもたちに及ぼした影響ー ーカンボジアからの報告ー



・カンボジアは、人口の40%が18歳以下、人間開発指数ランキングは144位(189ヵ国中)、貧困層は200万人を超えている。新型コロナウイルスによる休校やロックダウンで子どもたちは様々な影響を受けている。

- ・親の保護を受けられない子どもたちの増加や収入激減や閉校による心理的影響、暴力・虐待・ネグレクトの被害を受けるリスクの増加が懸念される。子どもの保護に関する影響は見えにくいところがある。
- ・カンボジア事務所の取り組みとしては、社会福祉サービスを受けられる環境づくりやメンタルヘルスを受けられるヘルプラインの開設、子どもの安全を守るソーシャルワーカーへの支援などを行っている。

#### 岡村亜也子(ユニセフ・東部・南部アフリカ地域事務所 調達担当官) —ユニセフの役割:COVAXファシリティー

・「COVAXファシリティ」とは、新型コロナワクチンを安全・迅速・公平に世界各国へ届けて、COVID-19の世界的大流行の終息と経済の再建を目指す世界190ヵ国が参加する取り組みです。COVAXでは、①高所得国と高中所得国が自主資金でワクチンを購入、ドナー拠出金による途上国へのワクチン供給、②ワクチンの研究と開発、生産拡大の支援と促進、③ワクチンの共同購入と公平な分配の役割を担っています。

ユニセフは毎年20億回分のワクチンを約100ヵ国のために調達している。そのノウハウを生かし、PAHOと共に92の低所得・中低所得国のためにワクチン調達と輸送を主導しています。COVAXを通して、世界ではこれまで120の国と地域へ4119万回のワクチンが届けられました。アフリカの東部・南部においても、すでに15の国に654万回のワクチンが届けられています。

#### 本尾雪絵(ユニセフ レバノン事務所 代表) ―レバノンにおけるCOVAX および 新型コロナウイルスの状況―

・レバノンは難民の人口比率が最も多い国で、経済危機によるインフレも進み、シリア難民などは極度の貧困状態に陥っている。ベイルートでの爆発でも多くの犠牲が出ている。新型コロナウイルスの感染率も日本の20倍程と多い。公平にワクチンをいきわたらせるには多くの課題がある。そういった状況の中で、ユニセフはレバノンで「国家ワクチン計画」の事業支援をおこなっている。

ワクチン事業の主な内容は、COVAXを通してのワクチン調達、コールドチェーン機材の査定やメンテナンス、ワクチン接種に係る注射器や様々なキットの提供、オンラインプラットホーム登録の支援、子どもたちを守るため学校管理者への教育支援など多岐にわたる。一日も早く多くの人々にワクチン接種ができるように努めている。4月現在で、10万人が2回目のワクチン接種を受けている。

# 2020年の日本ユニセフ協会の収支概要をご報告いたします。

日本ユニセフ協会では、2020年度の募金総額が昨年度を超え、これまでの最高額と発表されました。新型コロナ禍の中でもユニセフのテレビCMやDMキャンペーン、マンスリープログラム、フレンドネーションなど様々な方法が功を奏し、多くの募金に繋がりました。2020年度、アフガニスタンなどの国々では、新型コロナウイルスのパンデミックが長引く緊急事態を悪化させています。また、エチオピアなどでも新たな人道危機が発生しています。さらに、中央アメリカと東アジアでは、強大な暴風雨が脆弱なコミュニティを破壊し、子どもたちに影響を及ぼしました。そのような状況下、最も困難な状況にいる子どもを最優先に、すべての子どもたちへの支援に取り組むユニセフの活動を支えるため、日本ユニセフ協会は日本国内で、募金・広報・アドボカシー活動を展開しました。日本の皆様ご支援ありがとうございました。

ここに、2020年の日本ユニセフ協会の収支概要を ご報告いたします。

### 1.収支(公益目的事業会計)解説 【収入の部】

2020年度、皆さまのあたたかいご支援により、日本ユニセフ協会にお寄せいただいた募金は、224億88万321円となりました。

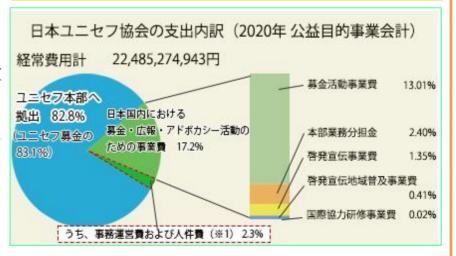
このうち、個人によるご寄付が84%、企業・団体・学校からのご寄付が合わせて16%を占めました。募金に加え、会費、寄付金、雑収益ほかすべての経常収益計は、224億7219万1370円となりました。

## 【支出の部】

2020年、当協会は、186億2,000万円をユニセフ本部に拠出しました。これは、経常費用計224億8,527万4,943円の82.8%(みなさまからお寄せいただいた募金224億88万321円の83.1%\*)にあたります。

経常費用計の17.2%は、ユニセフ本部との協力協定に基づき、ユニセフ支援の輪を広げるための、国内での募金活動(領収書/寄付控除申請書類の印刷・発送費や振込/決済に係る費用などを含む)、広報・アドボカシー活動、国際協力に携わる人材の育成活動などに充てさせていただきました。

#### 日本ユニセフ協会の収入内訳(2020年公益目的事業会計) 経常収益計 22,472,191,370円 ユニセフ募金 22,400,880,321円 支援者別内訳 学校 1% 会費 32,000,948円 団体 2% 寄付金 5,319,819円 企業 13% 個人 84% 19,204,354,529円 477,098円 雑収益ほか



# 2020年9月3日 ユニセフ・イノチェンティ研究所が 『レポートカード16』を発表しました。

#### 『レポートカード』ってなあに?



※レポートカードは「通信簿」の 意味です。

『レポートカード』とは、ユニセフ・イノチェンティ研究所が、先 進国における子どもの状況を比較・分析するために、2000年か らほぼ1年に1冊のペースで発表している報告書シリーズです。 20年続くレポートカードシリーズは、各国の比較可能なデー タを元に経済協力開発機構(OECD)または、欧州連合(EU)に 加盟する国々の子どもの状況をランキングで示したものです。

◆ ユニセフ・イノチェンティ研究所が2020年9月3日に発表した報告書『レポートカード16ー子ど もたちに影響する世界:先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か(原題:Worlds of Influence: Understanding what shapes child well-being in rich countries)』は、先進国の子ども たちの精神的幸福度、身体的な健康と学力・社会的スキルについてランキングしています。



©日本ユニセフ協会/2021 『レポートカード16』報告書の表紙

# ◇ユニセフ報告書『レポートカード16』 先進国の子どもの幸福度をランキング

子どもの幸福度

順位 ●上位グループ ●中位グループ ●下位グループ

# <日本の「子どもの幸福度」の総合順位は20位でした(38ヵ国中)>

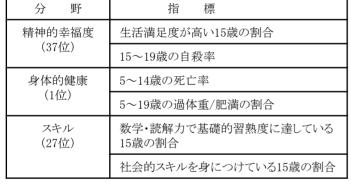
※この総合順位は以下の3つの分野、各2つの指標を総合した順位です。

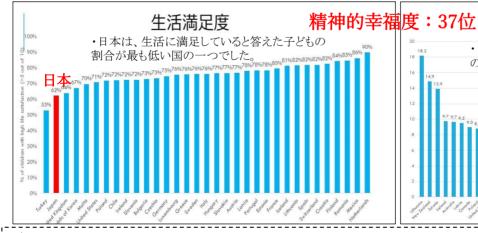
#### 【日本の子どもの幸福度の結果】

よい子ども時代とは何でしょうか。『レポートカード16』では、それを 精神的幸福度、身体的健康、スキルの3つの側面から考え、それぞ れ2つずつの指標で分析しました。

精神的幸福度については、ポジティブな面の指標として、生活満足 度、ネガティブな指標として自殺率を使いました。身体的健康では、 子どもの死亡率、そして、先進国における栄養不良を表す肥満率に 注目しました。スキルについては、子どもたちが高い学力をもつだけ では不十分と考え、学力と社会的スキルを同じ比重で分析しました。

分野ごとの内訳をみると、両極端な結果が混在する「パラドックス」と もいえる結果です。身体的健康は1位でありながら、精神的幸福度は 37位という最下位に近い結果となりました。







#### ◈尾木 直樹 氏(教育評論家・法政大学名誉教授)のコメント (部分抜粋)

今回の報告の中で日本は、ベストとワーストの両面があり、"逆説の日本"と言える状況が見て取れます。その中で注目すべき日本の子 どもの状況は、「精神的幸福度」の低さです。「精神的幸福度」の指標の一つである「生活満足度」を聞く設問に対し、「満足している」 と回答した割合はワースト2位の62%でした。これはトップのオランダ(90%)と比較すると衝撃的な数字です。この背景として、教育政 策上の問題が非常に大きいように思います。日本では15歳で迎える高校受験によって、子どもたちは偏差値という学力指標だけで振り分け られてしまいます。思春期という大切な時期を競争原理に基づく一斉主義により序列化するわけですから、子どもの自己肯定感がガタガタ になってしまい、幸福感が育たなかったり、自分に自信が持てなかったりするのは必然だと思います。

もう一つの指標である自殺は、先進国の10代の主要な死因になっています。日本の場合、文部科学省が2019年に発表した調査によれば、 2018年度に自殺した児童生徒数は332人と1988年度以降最多を記録しています。また、昨年大きな問題になりましたが、日本の10~14歳の 子どもの死因の第1位が初めて「自殺」になりました。さらに15~24歳の自殺率は先進国でワースト1です。このように、子どもたちの自殺 は日本の大きな問題と言えます。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響が心配されます。たとえば、経済的損失による子どもの貧困率の上昇、ニートの増加、外出制限 による過体重や肥満の増加、休校による不登校の急増、コロナいじめの増加などです。また、親の失業増加による虐待問題の深刻化、特に 性的暴力の問題を危惧しています。コロナ禍のこの大変な状況は、おとなだって誰も経験したことがないのです。そういう時こそ、生き延 びていくためのパートナーとして子どもを据えてみれば、たくさんの良いアイデアが生まれてくるでしょう。一斉主義を脱し、子どもも学 校も多様であるべきです。そして、子どもの声を聞き、あらゆる面で子ども参加が実現すれば、おのずと幸福度は上がっていくと思います。

# 佐賀県ユニセフ協会 2020 事業報告から

- ★佐賀県ユニセフ協会を支援してくださる皆様に、昨年度の募金総額と出前講座等の実施回数報告をいたします。 佐賀県ユニセフの活動は、大きく2つです。主に皆様に直接に支援をしていただく『募金活動』と、ユニセフの理解を 広げるための『広報・啓発活動』です。
- ★募金活動等で支援していただいた昨年1年間の募金総額¥4,312,860円でした。その中には、「ユニセフを支援する 『母子草』」さんからの使用済み切手・インクカートリッジ、書き損じはがきなどの収益¥396,089円も募金として含まれています。皆様の募金や様々なご支援に感謝申し上げます。
- ★広報活動については、新型コロナウイルス禍の中でも小・中学校、高等学校、一般の方まで、幅広く出前授業や講話の要請がありました。「子どもの権利条約」や「持続可能な開発目標SDGs」をテーマに、世界の子どもたちが直面している問題について伝え、自分たちに何ができるかを考えてもらいました。出前授業や講話などを県内外で31回行いました。

# ★ 2020年度 佐賀県ユニセフ協会における ユニセフ募金

(自:2020年1月1日 至:2020年12月31日)

# 総計 4,312,860 円

#### ○内訳

• 通常募金

・コロナ緊急支援募金

・シリア緊急支援募金

・東ティモール指定募金

・ハンド・イン・ハンド

・ 支援ギフト

934,182円 810,519円

105,849円 423.490円

2,022,020円

16,800円



#### ★出前授業・講話を通して世界の子どもたちの現状やユニセフの仕事などを広報

講師派遣(回)						協定地域組織への訪問(回)					合計
校種	小学校	中学校	高校	一般	小計	小学校	中学校	高校	一般	小計	
回数	10	7	2	1	20回	1	1	3	6	11	31回
人数	676人	337人	54人	6人	1073	6人	7人	12人	7人	32人	1105人

\*新型コロナ禍の中、多くのイベントや募金活動を中止せざるを得ませんでした。その中で出前授業の依頼は、これまでの繋がりもあり、主催者側もこちらも感染予防対策をとりながら実施することができました。

\*事務所訪問は、募金贈呈後のミニ講話・調べ学習・活動前の事前学習・情報収集・活動相談等を含むものです。









# ★「ユニセフを支援する会:母子草」による、書き損じはがき・使用済み切手等

# の募金協力





年 度	募金額
2012年度	357,230円
2013年度	354,645円
2014年度	272,569円
2015年度	467,507円
2016年度	387,987円
2017年度	477,325円
2018年度	233,331円
2019年度	642,615円
2020年度	396,089円



佐賀県国際交流協会

○ 1月26日(火) フードバンクさがへ 佐賀県ユニセフ協会より 食料品の寄贈 (佐賀市唐人1丁目1-14よってこ十間堀)

○ 2月16日(火) 小城市立三日月小学校 「異文化理解」出前授業 総合的学習の時間 5・6校時

※参加者: 5年生 4クラス 児童127人、先生5人

※佐賀県国際交流協会SPIRAと佐賀県ユニセフ協会と共催

※講師: シンデテ マティロ ジョゼさん(ベナン共和国)デベル モハメド・ラミー さん(チュニジア)

張 麗琦(チョウ レイキさん(中国)の3名















○ 2月19日 (金) 全国協定地域組織 オンライン事務局長会議 2021 11:00~15:00

※日本ユニセフ協会本部職員 & 全国26の地域組織の事務局長が参加

- ①日本ユニセフ協会 専務理事・事務局長の挨拶と2020年度報告と2021年度の計画
- ②各専門部からの報告
- ③26地域組織の紹介と報告

○ 2月26日(金)佐賀県立ろう学校中学部の1・2年生(6名)が事務所訪問 10:10~11:00

※ 使用済み切手及び使用済みインクカートリッジの贈呈

※ ユニセフ学習 『世界の子どもたちとユニセフ』

≪ユニセフ学習のねらい≫

・世界の子どもたちの現状とユニセフについて知り、 自分との関わりについて考えることができるように する。





○ 3月5日(金)~3月11日(木) 佐賀県ユニセフ協会主催 パネル展 <u>【詳細は、P7 に掲載】</u>

内容: 『3.11 わすれない「東日本大震災あれから10年」』&『佐賀の自然災害』

モラ・ビジョン(大型ビジョン)で「ユニセフCM」放映 (すべての人々にCOVID-19ワクチンを届けるために)」

期日: 2021年3月5日(金)11:00 3月11日(木)16:00 (7日間)

会場: モラージュ佐賀 北館2階 サンキ前フロア

○ 3月13日(土) 佐賀県ユニセフ協会 理事・評議員役員総会 13:30~15:00 <佐賀新聞社 4階会議室>

- ※ 新型コロナウイルス感染予防対策を十分にとりながらの会の実施
- ① 2020年度会計及び事業報告
- ② 2021年度会計予算及び事業計画
- ③ 日本ユニセフ協会からの報告及び最新情報
- ④ 理事・評議員様からのメッセージ

○ 3月16日 (木) J A佐賀県女性組織協議会様から 「愛の募金」贈呈

13:30 <佐賀新聞社>





○ 3月18日(木)トヨタ紡織九州株式会社様から使用済切手寄贈 「ユニセフを支援する『母子草』」へ 10:30 <佐賀県ユニセフ協会事務所>

> 佐賀県ユニセフ協会は、トヨタ紡織九州の 「レッド・トルネード」を応援しています。





○ 3月30日(月)多久町老人クラブへユニセフ講話 「例会での研修会」 10:15 ~ 11:15

3月30日(月)10:15~11:15 <多久町公民館> 講話:「世界の子ども達の現状とユニセフ活動」

対象: 多久町老人クラブ 長寿会 53名









○ 4月6日 (火) 佐賀龍谷中学校生徒会様より ユニセフ募金贈呈 龍谷学園 玄関ホールにて 16:00

≪生徒会の皆さんの思い≫

"総合的な学習の時間にSDGs学習に取り 組み、飢餓や貧困に苦しむ世界の子ども たちへの募金としたい"と決めました。







# ご支援 ありがとうございます

田口電機工業株式会社様、JA佐賀県女性組織協議会様、コープさが生活協同組合様、早稲田佐賀中学校生徒会様、 佐賀リハビリテーション病院様、南川副校区自治会様、母子草様、佐賀清和高等学校インターアクト部様、北陵高等学 校様、

佐賀龍谷高等学校生徒会様

道海島小学校様、JSA損保ジャパン様、佐賀医科大学研究管理棟様、ヘルスランチあららぎ様、佐賀市立図書館様、 佐賀聴覚障がい者協会様、クリーニングショップ・ホワイティー様、西与賀公民館様、新栄公民館様、大塚製薬様、 佐賀新聞社様、県民協働課様、本庄公民館様、佐賀県立ろう学校様、エコプラザ様、佐賀県立佐賀西高等学校様、 佐賀市役所市民生活課様、鳥栖市立基里小学校様、介護サービスセンターうえむら様、トヨタ紡織九州様、佐賀県婦 人地域連絡協議会様、佐賀県商工会連合会様、AIRオートクラブ佐賀支部様

(順不同:2021年1月9日~2021年4月23日)

※ いろいろな形でのご支援ご協力に心から感謝申し上げます。 個人の皆さま方からもたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄での ご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきました。



#### 賛助会員募集中! 日本ユニセフ協会賛助会員としてご協力ください。

(公益財団法人日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります。)

#### 日本ユニセフ協会賛助会員とは

#### 賛助会員の種類と期間

日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、賛助会費によって支援していただく協力方法です。 賛助会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にしていただくことができます。

- 1. 一般賛助会員 1口 5,000円…個人の方が対象 2. 学生賛助会員 1口 2,000円…学生の方が対象
- 3. 団体賛助会員 1口100,000円…企業、団体、有志のグループなどが対象 期間は、1年ごとの更新。
- ☆詳細については、佐賀県ユニセフ協会までお問合わせください。

# 今後の活動予定

# 『3.11忘れない』 パネル展

※ 2021年3月5日 (金) 11:00~ 3月11日(木)16:00(7日間)

※会場:モラージュ佐賀北館 2階 サンキ前フロア

# 見学者総数 2066人

佐賀県ユニセフ協会は、 10年間毎年パネル展を 開催し、被災された方々 に心を寄せてきました。

◆「3·11 わすれない」をキーワードに実施してきたパネル展も、あっという間に10年が過ぎました。 東北、そして福島はまだまだ復興半ばです。ぜひ、佐賀の皆さんにも、東日本大震災のことを風 化させず、被災地や被災をされた方々に思いを寄せてほしいと願い、今年もパネル展示をしまし た。また、この機会に故郷「佐賀の自然災害」も振り返り、非情の災害を通して、日頃からの人と人 の繋がりや絆の大切さも感じていただければと願って開催をしました。

ラージュ佐賀で開催しました。

あり、中止せざるを得ませんでした。)

【パネル提供に感謝いたします。:朝日新聞社CSR様、佐賀県庁河川砂防課様】

テーマ:『東日本大震災あれから10年』&

『佐賀の自然災害』風化させないために!

◆佐賀県ユニセフ協会では、3月5日(金)から3月11日(木)まで 3.11 わす

れない『東日本大震災あれから10年』&『佐賀の自然災害』のパネル展をモ

特に、東日本大震災については今年10年の節目の年ということで、なるべく 多くの方にパネル展を見ていただきたく、大型商業施設「モラージュ佐賀」様

の会場で実施いたしました。(昨年は、新型コロナ感染が広がり始めた頃でも



【パネル展の表示】



【動画でのユニセフCM】



【東日本大震災のパネル展示】【佐賀の自然災害のパネル展示】



# 皆さんの感想



【感想や気づきを書く子ども達】

- ◆人がなくなってかわいそうだと思います。男の人がないている写真がありました。なみの中、火 の中、みんながなくなっている写真があったので悲しかったです。(久留米 小学生)
- ◆東日本大震災の後、ボランティアに行ったことがあります。そこは跡形もなくすごい場面 でし た。でも、現地の人は見知らぬ私を笑顔で迎えてくれました。「ありがとう」「ありがとう」と言ってく れ、涙がいっぱいでした。自然災害は止められないことかもしれないですが、みんなで精いっぱ い生きましょう。佐賀の被災された方達も頑張りましょう。私たちはいつも手を貸したいと思ってい ます。(神埼市 20代)
- ◆自分の身近な所の豪雨災害や昔の写真を見て、災害の恐ろしさや自然の凄さを改めて実感 しました。自分の住んでいる場所でもいつ災害があるかわからないので、日頃の備えをちゃんと したいと思いました。もっと知りたいと興味も出たので、調べたり、深く追求していきたいと思いま す。とってもためになりました。 (嬉野市 10代)
- ◆写真で災害の有様を見ると胸に迫るものがありました。私たちは自然の中で生かされている存 在だと感じながらも、日々感謝の心を忘れがちになっていると思いました。今日のことを教訓にし て、未来を創っていかなければならないと思いました。子ども達にもしっかり伝えなければならな いとも思いました。 (佐賀市 50代)
- ◆明日は我が身。みんな一人一人の優しい気持ちが、他の一人一人を助けると思い ました。 (佐賀市 70代)

\*7月11日(日) 13:00~16:00「第1回 SDGs フェア」 コープさが生協 & 佐賀県ユニセフ協会 <メートプラザ多目的ホール



\*7月18日(日) 13:30~15:45 「ユニセフ シアター」 『風をつかまえた少年』 <佐賀市立図書館 2階多目的室>

\*8月上旬 「佐賀市平和展」ユニセフパネル展示、地雷レプリカ展示

< 佐賀市立図書館ロビーギャラリー

\*9月中旬(日) ユニセフチャリティ バザー 募金活動

<佐賀玉屋 南館アーケード>



# Unitish の仲間たち!

## 田口電機工業株式会社 代表取締役社長

たぐち ひでのぶ

# 田口 英信 さん ―基山町―



田口電機工業株式会社CEO 田口さん



田口電機工業 社屋

\* 経済通産省より認定(H29.12)



地域未来牽引企業



\* 最高優秀経営者賞授賞(R2.1)



若い社員の皆さん

#### ◆田口さんから一言

田口さんは、「今後も技術力向上と経営の強化を図り、 CSR(社会的責任)を満足できる企業として、また、SDGs に配慮し、未知への想像で、未来を創造する最先端技術 を開発し続けて、地球環境に優しい企業を目指し、社会 に貢献します。」と優しい表情で話してくださいました。

#### ◆「田口電機工業」ってどんな会社

田口電機工業株式会社は、ナノテクからロケット技術までローテクからハイテク技術を支える『めっきのデパート』です。 九州の佐賀県から、めっきの先端技術を提供されています。 『めっきのデパート』とも言える50種以上の様々なめっき加工や表面処理品種を取りそろえ、金属、非鉄、セラミックスなどの自動車、半導体、医療機器など様々な分野の製品や部品に対し、高品質、高精度の表面処理をされている会社です。

#### **◆ものづくり**

先代から27才で会社を引き継いだ田口さんは、時代の波に大きく舵を切り「めっき」会社の存亡の危機に見舞われながらも乗り越え、ここまで来られました。高い特殊技術と長い経験を認められ、厚生労働省から『ものづくりマイスター』の認証も受けられています。

田口さんの会社経営の"信念"や"夢"も語っていただきました。「会社を経営する公人として、人間として、社会に貢献しながら、最先端のめっき技術で世の中の役にたつ研究開発を目指し、世界に通じるグローバル企業に育てたい」と。

そして今、その"夢"は実現されようとしています。人の命を救うための『がん検診用Xデバイス』の研究開発や地球環境を守る脱炭素、電気自動車の心臓部『パワー半導体基板めっき』の生産などに取り組まれています。先端技術の粋を集めた表面処理技術を元に、更なる飛躍を目指されています。

#### ◆人づくり

従業員75名、平均年齢が29才という若さ溢れる会社です。 社員にも「いかなる場合も失敗はつきもの、そこから何を学び、どう改善し、あきらめずに粘り強く努力する熱意が大切だ」と話されるそうです。

また、田口さんは基山町の教育委員長も長く務められていて、次世代を担う子ども達の育成に向けて「どうか、皆さんも原点を主軸において次代を担う力強い子ども達を育てていくために頑張ってください」と話されました。

#### ◆ユニセフとのつながり

田口電機工業様は、「社会に貢献できる企業」の取り組みの一環として、「ユニセフ募金」を通して世界の子ども達の 福祉向上にお力添えをいただいています。





佐賀県ユニセフ協会創立25周年式典での感謝状贈呈(2018.6.15)